

BPW Newsletter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN



2021. 1. 20

Vol.117

CONTENTS

- 巻頭メッセージ
2021 年頭にあたって
日本 BPW 連合会理事長
平松昌子
- 2020 年連合会活動(7~12 月)
 - ・第 5 次男女共同参画基本法策定にむけての勉強会
 - ・NVEC「男女共同参画推進フォーラム」参加—各種イベント
 - ・共催オンラインイベント「政治分野のジェンダー平等をめざして」
 - ・EPD 全国会議および
2020 EPD アピール
 - ・近畿ブロック研究会
 - ・ハラスメント対応講座
 - ・EPD 付箋 & クリスマスギフトパック
- IFBPW コングレスについて
- 今後の活動予定
- 内閣府共催事業のお知らせ
- このゆびとまれ PT 事業報告

日本 BPW 連合会ニュースレター

発行人:平松 昌子
編集:広報委員会

認定 NPO 法人日本 BPW 連合会
〒151-0053 東京都渋谷区代々木
2-21-11 婦選会館 303
TEL.03-5304-7874
FAX.03-5304-7876

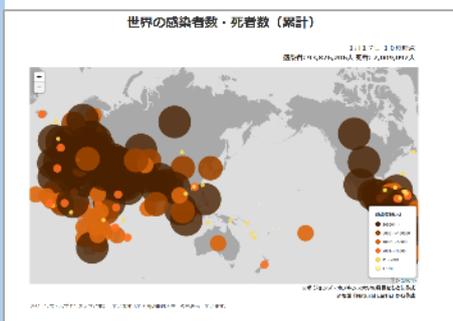
E-mail office@bpw-japan.jp
ホームページ: <http://www.bpw-japan.jp/>
フェイスブック
<http://www.facebook.com/bpw.japan>
インスタグラム
http://instagram.com/epd_japan

初夢! 日本に女性の総理大臣が...

日本 BPW 連合会 理事長 平松 昌子



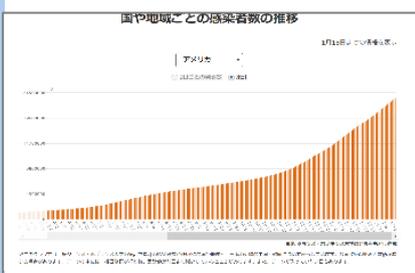
昨年(2020年)は、COVID-19 が、世界中に蔓延し、日本のみならず多くの国で過去にない数の感染者を出し、多くの命を奪い、人々の生活に多くのダメージをもたらした。しかし、この COVID-19 の拡散防止に成功した国や地域があり、そのトップで指揮を執



ったのは女性だった。ドイツのアンゲラ・メルケル首相、フィンランドのサンナ・マリン首相、ノルウェーのエルナ・ソルベルグ首相、アイスランドのカトリーン・ヤコブスドットイル首相、デンマークのメッテ・フレデリクセン首相、ニュージーランドのジャシダ・アーダーン首相、そして台湾の蔡英文総統。

なぜ、女性が最高指揮を執った国がウイルスの抑え込みに成功したか。いろいろな条件の違いはあるだろうが、「国民にとって今大事なことは何か」をしっかりと認識して、かじを取ったからだとされているし、私もそう思う。

日本の菅総理も「国民の生命財産を守ること」を、総理の座についた時に公約として掲げた。しかし、COVID-19 によるパンデミックへの政策を決定するときには、国民の命を守るという何よりも優先すべき為政者としての認識が希薄であることを明確にあぶり出した。



男性の元首といえどもう一人、アメリカのトランプ大統領(当時)は、コロナ禍が広がり始めたとき、感染防止策をとるのではなく、「消毒液を注射すればいい」と発言したり、自分が感染しても「すぐ治る」という姿勢を誇示していた。その結果、アメリカでは 37 万人以上の死亡者(2021 年 1 月 11 日時点、米ジョンズ・ホプキンス大の集計)が報告されている。

私たち BPW は、人口の半分が女性であることを理由として、或いは「SDGsの目標5のジェンダー平等の実現」を目指して、政策を決定するポストの半数に女性を配置するよう求めて活動してきた。議会では議席の半数が女性で、企業の役員会でも半数が女性、上級公務員も半数が女性をと「50-50の実現」を求めて活動してきた。

そして、2021 年、アメリカでは、トランプ政権に代わるバイデン政権で、カマラ・ハリス氏(右写真)が初の女性副大統領の座に就任した。そして日本では...「総理の座に女性が座っている!」という初夢をみて、私は、目が覚めた。その女性が誰かまでわからなかったが...



2020年日本BPW 連合会活動

冒頭の理事長メッセージにもあるように、2020年は新型コロナ・ウィルス感染症拡大で大幅に活動のスケジュール変更や様式変更を余儀なくされました。しかし、コロナ禍によって、ジェンダー不平等がもたらした弊害があぶり出され、BPWは活動のテンポを緩めるわけにはいけなくなりました。オンライン会議の技術を駆使して行った活動を報告します。(前回のNL Vol.116 報告以降の活動内容を経時的に記載)

◇第5次男女共同参画基本計画策定に向けて勉強会

7月31日の第1回勉強会は、骨子案について政策編(全11分野)と推進体制の整備・強化についてBPWの各専門家がその内容を紹介した。日本BPW連合会としてのパブコメを提出するには、さらに、その直前に出された素案についての検討が必要として、第2回(8月17日)・第3回(8月27日)を開催した。各回では、担当者が、各分野の基本的方針や具体的取り組みの概略・要点を簡単に説明した後、日本BPW連合会の活動テーマや方針に照らし合わせて、特に課題と思われる点をピックアップし、これらに対し、意見交換を行った。参加者は、第2回が約40名、第3回は約30名であった。この経過をもとに、日本BPW連合会としてのパブコメを提出した。また、参加者には、内閣府主催の公聴会への参加を推奨するとともに、個人あるいは、各クラブとして、それぞれが重要課題と思われる点について、パブコメを提出するように依頼した。



(パブコメ提出メ切:9月7日)

第3回:90周年記念日(8月26日)*に合わせて、黄色を身に着けた参加者たち

*<https://www.bpw-international.org/index.php/activities/celebration>

◇NWEC「男女共同参画推進フォーラム」(オンライン開催) 参加:2020年8月27日~9月26日

展示:8/27~9/26

・EPD「知っていますか?男女賃金格差の大きさ!」(日本BPW連合会)⇒HP以下に掲載

<http://www.bpw-japan.jp/japanese/dl/epd-panels.pdf>

・「議席の半分に女性を!」(クォータ制を推進する会)

ライブ配信

・8/29「女性議員を半数に!コロナ禍に学ぶ女性リーダーの活躍」(クォータ制を推進する会主催)**



ライブ討論:各政党の女性議員がパネリストとして参加。自民党・稲田朋美幹事長代行、公明党・竹谷とし子女性局長、立憲民主

党・大河原雅子ジェンダー平等推進本部長、国民民主党・徳永エリ男女共同参画推進本部長、共産党・畑野君江女性委員会副委員長、社民党・福島みずほ代表、超党派議連・矢田わかこ事務局長がZoom参加。そして日本維新の会・高木かおり女性局長、自民党・木村やよい総務大臣政務官がビデオで参加。Qの会顧問の三浦まり・上智大教授、大山礼子・駒沢大教授と参加者の意見を交えて討論。ウイズコロナ時代の新しい政治、ジェンダー平等、クォータ制の実現、203050を目指して、今後の法改正や取組に前向きで力強い意見が聞かれた。

・9/12「ユースが語るジェンダー平等の壁「らしさ」とは」(日本BPW連合会:CSWインターン企画)Zoomミーティングによるワークショップ**:

スピーカー3名それぞれが興味を持って活動や研究をしているジェンダーの分野で、「『男らしさ』と“弱さ”、ケアについて」、「エッセンシャル



ワークと『…らしさ』」、「アンコンシャス・バイアスの視点から考える性的同意」と題してスピーチした。スピーカーがファシリテーターを務めるグループセッションを前後にはさみ、参加者の体験や気付きを引き出し、最後に「私たちがジェンダー平等のためにどんなことができるのか」というテーマで各スピーカーの行動宣言を発表した。

10代から70代までの27名が参加し、ユースの考えるアンコンシャス・バイアスとジェンダーの問題について知り、気付きだけでなく自身の体験のシェアもある双方向な2時間半であった。BPWとして17回目の派遣となるはずだった2020年のUN-CSWインターンに選考されながらも、コロナ禍でCSWに行けなかったメンバーが企画・運営した。

□BPW長崎クラブ&連合会共催イベント「政治分野のジェンダー平等をめざして」9月12日(土)**

第1部:新書『女性のいない民主主義』の著者・前田健太郎氏(東京大学大学院法学政治学研究科准教授)の講演では、民主主義とは何か(古代ギリシャからの現代に至る民主主義の変遷や21世紀の民主主義)、女性の過少代表の原因(日本政治の見方、女性議員の少ない理由、政党と選挙制度、クォータ制)、および、女性の過少代表の帰結(議会の存在意義、日本政治の争点、話し合いとジェンダー)について学んだ。



第2部:市議 2 期の経験をもつ中田慶子さん(DV 防止ながさき理事長)と清明日香さん(次世代代表)の政治とジェンダーについて発言の後、講師を含めた3人の意見交換を行い、オンラインや会場参加者からの質問に答えた。

この講演会は、新型コロナ感染拡大のため講師の来崎が叶わず、連合会の共催として、会場+オンラインのハイブリッド開催に変更した結果、全国からのオンライン 82 名+会場 37 名の参加があり、有意義な 2 時間半であった。

*動画はHP イベントアーカイブスよりアクセス下さい。

◇EPD イコール・ペイ・デイ全国会議:10月18日(日)

新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため会場(婦選会館)とオンラインの併用、ハイブリッドで開催した。



テーマ:「賃金の男女格差解消に向けて

～格差をもたらすものは何か～

第1部 政策説明-渡辺正道氏(厚生労働省雇用環境・均等局雇用機会均等課長)

女性の労働力人口推移や年齢階級別労働力率などのデータを提示。M字カーブの底はあがっているが、「正規職員・従業員」は25~29歳がピークで、年齢別就業率は、35~39歳を底に再び上昇するも、パート・アルバイト等の非正規雇用が主。管理職に占める女性割合は徐々に上昇するも国際的にその水準は依然低い。男女間賃金格差は長期的には縮小傾向だが、依然として開きがあり、その要因と国際比較を示した。これらの現状に対し、女性の活躍推進に対する法整備や関連施策などについて説明した。

第2部 講演「男女の賃金格差の要因を探る～女性の権利を国際基準に～」-浅倉むつ子氏(早稲田大学名誉教授)

厚労省発表データから算出される男女賃金格差は正規雇用者のみで格差 25.7 だが、女性労働者の 56.0% が女性であることから、非正規を入れ、賞与を入れてカウントすれば、女性は男性のほぼ半分しか稼げていない。この男女間の大きな賃金格差の要因は、「勤続年数」と「職階」の差 - 短い女性の勤続年数の背景(第1子出産で5割退職、極端に少ない夫の家事育児時間)や日本の企業の雇用管理上の問題を指摘した。賃金格差や雇用に関する裁判例と法改正を紹介。それでも、基本給の男女差など、まだまだ残された問題があり、その解決策として、①非正規と正規の基本給格差を是正する「職務評価」②プロアクティブな賃金格差解消法制(参照:カナダのオンタリオ州「ペイ・エクイティ法」1987)③女性差別撤廃条約の選択議定書の批准などが提案された。

第3部 意見交換とアピール採択(右段上)

◇近畿ブロック研究会(香川):10月26日(土)

ハイブリッド開催(対面+オンライン)

◇ハラスメント対応講座…オンラインで実施

基礎:11月3日(火/祝)午後のみ

応用:11月10日(火)午前・午後

◇日本BPW認定ダイバーシティ・エデュケーター資格

厳正な審査の結果、ベーシック資格者9名が誕生しました。

2020 EPD アピール

1 男女の賃金格差を知ろう! 2020年のEPDは5月6日(一般労働者)

*男性が1年間に得る賃金を、女性は1年では得ることができず、翌年の5月6日まで働いて、ようやく得ることができる。この日がEPDということ、心に落とし込もう。

*男女の賃金格差は若いころは小さいが、年を取るほど拡大することを、心に落とし込もう。

*企業の管理職に占める女性比率に加えて、男女の賃金格差を公開しよう。機関投資家はコーポレート・ガバナンスを注視している。

2 男女間の賃金格差の原因は、男女の職階と勤続年数の差!

*格差解消のため、両立支援策、ワーク・ライフ・バランス、女性の登用を目指すポジティブアクションが不可欠。

*男性も育児・介護を担おう。

3 同一価値労働・同一賃金の実現を目指そう!

4 みんなの協力で格差解消を!

*COVID-19により、働く女性が追い詰められている状況を直視し、社会を変えていこう。

*行政(中央・地方)に積極的な協力を求めよう!

*経済界・資金団体・マスコミ等に「理解と協力と行動を!」と呼びかけよう!

◇イコール・ペイ・デイ/EPD 付箋

2020年夏、JWLI*基金 2020の社会貢献活動寄付援助を活用し、BPWの主要活動であるEPDキャンペーンの促進と認知度アップのために、オリジナルデザインの付箋を作成した。より多くの人知ってもらい、強いアピールのために、デザインを公募し、落合みね子さん(札幌市在住・非会員)と田代早苗さん(東京クラブ)合作を最優秀賞に選んだ。(*JWLI: <http://jwli.org/home/>)



◇BPW オリジナルグッズ クリスマスギフトパックを販売

新型コロナウイルス感染症拡大で、対面の会合がほとんど開催できず、各種グッズ販売が難しくなりました。この解決策として、クリスマスギフトパックを販売しました。内容は、SDGs マグネットバッジ 1 個、EPD オリジナル付箋 10 個とブックレット No.4 「男女賃金格差」山ロー男氏講演録(2020年文化功労賞受賞)。全国の会員から、97 セットを購入頂きました。ご協力ありがとうございました。

↓SDGsマグネットバッジ



裏面に
BPW JAPAN
の刻印↓



IFBPW の動き
第 30 回 IFBW コンgress延期
その後の経過

2020年8月21-25日にアメリカのオーランド(フロリダ州)で開催予定であったコンgressは、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大によって延期となった。それでも、何らかの形での開催に備えておこうと、日本では、前号 NL で報告したように、すべての決議案および規約改正案についての説明および検討会を6月23日に、オンラインで開催した。しかし、その後も IFBPW の役員からの今後のスケジュールによる明確な方針が発信されないまま、時間が過ぎていき、日本国内のみなさんへの説明ができませんでした。

12月17日(日本時間21時~)に開催された評議会で、4時間にわたる討議を行い、「延期したコンgressをどのような形で開催するか」については評決となりました。12月25日に配信された投票結果は以下の通りです。

132票のうち、
3月31日までにオンライン開催 66票
3月/4月までにリアル開催 2票
上記の2案に反対 38票
白票(棄権) 26票

以上の結果、第30回コンgressは、(日本でいう)今年度中にオンラインで開催されることになりました。詳細が、わかり次第、みなさまにお知らせいたします。(国際委員長 布柴)

2021年今後の連合会活動予定

◇1月24日(日)関東・山梨ブロック研究会(山梨)→緊急事態宣言のため中止

◇2月20日(土)中部ブロック研究会(名古屋)→オンライン開催変更

◇2月27日(土)西日本ブロック研究会(熊本)→予定通り開催/後日ビデオ配信予定

◇4月18日(日)PM 評議会
連合会前理事&監事(各クラブ・アソシエーツ代表が参加)

◇5月29~30日(土-日)和歌山大会・総会:多くの方にご出席いただき、意見交換し交流を深めて頂きたいと思います

国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業

リスクマネジメントとジェンダー平等



~コロナの経験から新たな世界を創る~

《内閣府共催事業のお知らせ》

テーマ「リスクマネジメントとジェンダー平等

~コロナの経験から新たな世界を創る~

■日時:2021年1月30日(土)13:00~17:00(12:30開場)

■会場・開催:Zoomによるオンライン開催(要事前予約)

《開催趣旨》 今回の「コロナ・パンデミック」は、私たちに生物学的、心理学的、社会的、経済学的危機をもたらしました。そこで、「罹災者への対応」、「社会的対応」そして「経済的対応」において、リスクマネジメントの視点から検証し、この災害を梃子として、だれひとり取り残さない社会の実現に向けて新たな一歩を踏み出すきっかけを、大災害の経験都市である神戸から発信しましょう。

今、私たちが不確実性の強い時代、唯一絶対の正解のない時代を生きていることを認識し、多様な意見を取り込み、次の地球規模の緊急課題発生に備えた知恵を出し合うために、ぜひ、ご参加ください。

《プログラム》

13:00 開会挨拶

13:10 パート1 **リレートーク**

「リスクと ELSI の考え方—コロナ新時代に向けて」—岸本 充生 氏(大阪大学 社会技術共創研究センター長・教授)

「COVID-19 がもたらす女性・女児へのリスクと UN Women が果たす役割」—石川 雅恵 氏(UN Women 日本事務所長)

「『激動をよき友に』コロナの中小企業への影響と事業継続や企業改革のポストコロナへの取り組み」—平田 美穂 氏(中小企業家同友会全国協議会 政策広報局長)

「第5次男女共同参画基本計画の策定とコロナ下の女性の影響と課題について」—林 伴子 氏(内閣府 男女共同参画局長)

—休憩—(14:50~15:00)

15:00 パート2 **グループディスカッション&神戸アピール採択**

「コロナによる人々へのネガティブな影響とポジティブな影響は何か。」「それらの影響を踏まえ、次の同様のリスクに備えて、以下の4つの領域でできることは何か。」4つのグループ「政治」「教育」「仕事」「地域活動・家庭」
【お願い】下記 URL よりオンラインでお申込み下さい。(2021/1/28 締切)

<https://bpw-sympo2020.tsukurusu.com/>

○下記チラシを印刷して FAX での申込みも可能。(1/28 締切)

<http://www.bpw-japan.jp/japanese/dl/sympo20210130.pdf>

◇このゆびとまれ(略してゆびとま)PT 事業報告:ゆびとま PT は、単位クラブ・アソシエーツや個人の企画を連合会が支援する。初の事業は、BPW 長崎クラブ 企画「政治女子育成プレスクール」。第1回(10/9)「国際社会から遅れる日本のジェンダー平等」by 平松理事長、第2回(10/16)「男女共同参画基本法制定とその後」by 名取副理事長、第3回(11/4)「私が政治をめざした理由は…そして、今」by 現職議員3名(宮沢由佳・参議院議員、種部恭子・富山県議会議員、永野裕子・豊島区議会議員)。3回のセミナーには、BPW の非会員、大学院生、海外からも含めて、のべ63人が参加した。

編集後記:平松理事長の新春メッセージに触発されてニュースレター発行に至りました。コロナ禍だからこそ、密なネットワークを心がけたと思います。ただ、申し訳ありませんが、号外のため、印刷は各位でお願いします。(く)